グリーン・リサイクリング・オーガニック・ウェイスト（G.R.O.W.）プログラム

ホノルル市環境サービス局

家庭向け道路脇回収システム、グリーンコンポストカートの変更について：生ゴミ・食品廃棄物および堆肥化可能素材製造物の堆肥化

よくある質問と回答

ご質問のある方は
ウェブサイト：honolulu.gov/env/grow
お電話：(808) 768-3200
メール： opala@honolulu.gov

ウェブサイトを
ご覧ください！

概要

ホノルル市（市）環境サービス局（ENV）は、自動収集式グリーンコンポストカート回収サービスを通じて、選定された世帯を対象に生ゴミや食品廃棄物の堆肥化を試験的に実施する「グリーン・リサイクリング・オーガニック・ウェイスト（G.R.O.W.）」プログラムを導入します。本プログラムは、将来的には製造された堆肥化可能な素材（「Compostable（堆肥化可能）」および「Biodegradable（生分解性）」と表示された製品）の回収も対象とする予定です。 市はまずパイロットプログラムとして、現在自動収集サービスを受けているワイパフ、ナナクリ、ハワイ・カイ、ミリラニ、カイルア、カリヒ、およびこれらの町の周辺地域の住民を対象に、2026 年 4 月 1 日より生ゴミや食品廃棄物をグリーンコンポストカートに投入できるようにします。市は将来的にこのプログラムを島全体に拡大する予定です。

この取り組みは、2030 年までに廃棄物埋立処分を 95%削減するという市の目標を支援するものです。現在オアフ島の廃棄物総量の約 20%を食品廃棄物が占めており、その総量は年間約 16 万トンに上ります。そのうち約 6 万トンは一般家庭から排出されています。 食品廃棄物は埋立処分されると、強力な温室効果ガスであるメタンを発生させます。堆肥化することで、埋立地のスペースを節約し、メタン排出量を削減できるほか、生ゴミや食品廃棄物を地元の庭や農業に利用できる栄養豊富な堆肥へと生まれ変わらせることができます。

「マラマ・アイナ（環境への配慮）」は家庭から始まります。生ゴミや食品廃棄物を緑色の堆肥用カートに入れることで、埋立処分される廃棄物と温室効果ガスの排出を削減し、土壌を再生させ、次世代のためにより健全な島環境を残すことに貢献できます。

最終更新日：April 22, 2026

G.R.O.W.プログラム – 緑色の堆肥用カートへの生ゴミ・食品廃棄物の投入

Q: オアフ島では、戸別回収にどのような変更がありますか？

A: パイロットプログラムの対象に選ばれた住民は、2026 年 4 月 1 日より、戸別回収の緑色の堆肥用カートを利用することにより生ゴミや食品廃棄物を堆肥化できるようになります。パイロットプログラム開始後、住民は隔週の定期回収サービスの一環として、緑色の堆肥用カートに生ゴミや食品廃棄物を、有機廃棄物と一緒に投入できるようになります。

現在、以下の地域およびその周辺地域で緑色の堆肥用カートの収集サービスを受けている世帯は、このパイロットプログラムの対象となります：

- ワイパフ
- ナナクリ
- ハワイ・カイ
- ミリラニ
- カイルア
- カリヒ

ご自宅がこれらの地域のいずれかにある場合、2026 年 2 月または 3 月に、参加を呼びかける案内状が届いているはずです。

現時点では、「堆肥化可能」または「生分解性」と表示された包装材や容器を含む「堆肥化可能素材製造物（MCM）」は、緑色の堆肥用カートには投入できません。今後、これらの素材を緑色の堆肥用カートに投入できるようになった際には、市から改めてお知らせいたします。

一般ごみ、混合資源ごみ、有機ごみの自動収集は、すべての住民を対象に引き続き行われます。収集スケジュールはこちらでご確認ください。島内の全住民が生ゴミや食品廃棄物を緑色の堆肥用カートに入れることができるようになった際は、市から改めてお知らせいたします。

Q: 家庭からの生ゴミや食品廃棄物の収集はどのように行われますか？

A: 詳細については、https://honolulu.gov/env/grow にてデジタルファクトシートおよびパンフレットをご参照ください。パイロットプログラムに参加する住民の方は、本プログラムに関する対面ワークショップ、または ENV 事務所にて、無料のキッチン用収集ペールまたは再利用可能なシリコンバッグを受け取ることができます。 今後の対面ワークショップに参加できない場合は、市のリサイクル課（(808) 768-3200 または opala@honolulu.gov）に直接ご連絡の上、キッチン用保存容器の受け取り手配を行ってください。キッチン用収集ペールや再利用可能なシリコンバッグの受け取りおよび使用に追加費用はかかりません。

Q: なぜ生ゴミや食品廃棄物が緑色の堆肥用カートに追加されるのですか？

A： 住宅向け戸別回収グリーンコンポストプログラムにおいて生ゴミや食品廃棄物の受け入れを開始することは、*ホノルル市郡の「2019 年統合固形廃棄物管理計画改訂版」*で掲げられた 2030 年までに廃棄物埋立処分量を 95%削減するという目標の達成に大き

く寄与する事が期待されます。オアフ島における廃棄物総量の 36%を有機物が占めており、そのうち食品廃棄物が 20%を占めています。重量ベースで、オアフ島では毎年約 16 万トンの食品廃棄物が発生しており、そのうち 6 万トンが一般家庭から排出されています。

家庭用緑色コンポストカートに生ゴミや食品廃棄物を投入することで、市は埋立処分される食品廃棄物の量を削減し、その結果、埋立地のスペースを節約するとともに、食品廃棄物の分解によって放出される温室効果ガスの排出を削減することができます。生ゴミや食品廃棄物を有機廃棄物と共に、植物の成長を助け、浸食を防ぎ、保水性を高め、植物の病気や雑草を防ぐ、栄養豊富な堆肥へと変換することが可能になります。

CCH（ホノルル市）法案 47 号（条例 23-30）は、ENV に対し、2025 年 4 月 1 日までに、リサイクル可能な資源の島全域における戸別回収プログラムに、生ゴミおよび食品廃棄物の回収を含めることを義務付けました。 CCH（ホノルル市）法案 28 号（条例 25-24）により、ENV による生ゴミおよび食品廃棄物の戸別回収の実施期限が 2026 年 4 月 1 日までに延長されました。

Q: この新しいプログラムに参加する必要がありますか？

A: このプログラムへの参加は任意です。ただし、住民の皆様には参加を推奨しています。

Q: なぜこの新しいプログラムに参加すべきですか？

A: 「マアマ・アイナ」とは、周りの土地や人々を大切にするというハワイの価値観です。私たち一人ひとりが、環境や地域社会を守るためにできることがあります。 生ゴミや食品廃棄物を緑色の堆肥用カートに入れることで、埋立処分される廃棄物を減らすことができます。これにより、埋立処分される廃棄物の量そして食品廃棄物から排出される温室効果ガスを削減し、植物を育てるための栄養豊富な堆肥の生産に貢献することで、環境に良い影響を与えます。この新しいプログラムに参加することで、2030 年までに埋立処分率を 95%削減するというホノルル市の廃棄物に関するサステナビリティゴールの達成にも貢献することになります。

Q: 一般ごみ（グレーのカート）や混合資源ごみ（ブルーのカート）の収集に変化はありますか？

A: いいえ。一般ごみと混合資源ごみの収集は従来通りです。

Q: 収集スケジュールに変更はありますか？

A: いいえ。収集スケジュールに変更はありません。スケジュールはこちらからご確認いただけます。

Q: 生ゴミ、食品廃棄物、有機廃棄物を自分で持ち込むことはできますか？

A: はい。すべての住民は、ワヒアワのハワイアン・アース・リサイクリング（Hawaiian Earth Recycling）堆肥化施設（住所：65-1101 Wilikina Drive, Wahiawā）に、生ゴミ、食品廃棄物、有機廃棄物を無料で持ち込むことができます。同施設では、1 日あたり最大 2 回までの持ち込みを受け付けています。 施設の営業時間については、こちらからハワ

イアン・アース・リサイクリングのウェブサイトをご確認ください。市の転送ステーションおよびごみ処理センターでは、生ゴミや食品廃棄物の受け入れは行っておりません。ただし、市の転送ステーションやごみ処理センターにある特定の有機廃棄物用ロールオフコンテナまたは指定エリアへの有機廃棄物の持ち込みは可能です。

生ゴミおよび食品廃棄物の回収

Q: グリーンコンポストカートにはどのような生ゴミや食品廃棄物を入れることができますか？

A: 以下の生ゴミおよび食品廃棄物は、緑色の堆肥用カートに入れることができます：

- 果物
- 野菜
- 乳製品：常温で固形または半固形のもの（チーズやヨーグルトなど）
- パンおよび焼き菓子
- パスタ、米、穀物、シリアル
- 豆類、ナッツ類、種子類
- 肉、魚介類、鶏肉、骨（魚や鶏の骨など）
- 卵の殻、ナッツの殻、魚介類の殻
- 残り物や腐った食品
- 食卓の残飯や皿に残った食べかす
- コーヒーかすや茶葉・茶殻

以下は、すでに緑色の堆肥用カートで回収されているものです：

- 芝生の刈草
- 枯葉
- 剪定枝
- 生垣の刈りくず
- ヤシの葉
- 天然のクリスマスツリー

Q: 緑色の堆肥用カートに入れてはいけないものは何ですか？

A: 緑色の堆肥用カートには、以下のものは入れられません：

- 液体
- 紙および紙製品
- プラスチック
- 金属
- ガラス
- 植物性又は動物性の油脂（FOG）
- 堆肥化可能素材製造物（MCM）：「堆肥化可能」および「生分解性」として認定、表示された製品
- ペットの排泄物
- コーヒーカップ

- テイクアウト容器およびピザの箱
- ファストフードの包装紙およびパッケージ
- コルク栓、輪ゴム、商品シール、止めひも
- 土、石、レンガ、植木鉢

Q：「堆肥化可能」または「生分解性」と表示された包装材、容器、その他の製品についてはどうですか？　緑色の堆肥用カートに入れてもよいですか？

A: いいえ。たとえ製品に「堆肥化可能」や「生分解性」と表示されていても、緑色の堆肥用カートに入れてはいけません。現在、市の堆肥化施設では「堆肥化可能素材製造物」を処理することができませんが、将来的には受け入れできるよう取り組んでいます。

Q: 回収日までに生ゴミや食品廃棄物はどのように保管すればよいですか？

A: 生ゴミや食品廃棄物は、回収日まで屋内で保管してください。キッチン用収集ペール、再利用可能なシリコンバッグ、あるいは大きなヨーグルトの容器など、密閉できる容器を使用してください。回収日まで生ゴミを冷凍保存することをお勧めします。保存容器や袋の中身（生ゴミと食品廃棄物のみ）を直接緑色の堆肥用カートに入れてください。 プラスチックは堆肥を汚染するため、ビニール袋やプラスチック容器は緑色の堆肥用カートに入れないでください。家庭から出る食品廃棄物は臭いが強く、害虫の発生原因となる可能性があるため、冷凍保存することをお勧めします。

Q: 生ゴミはキッチン用保存容器、再利用可能なシリコンバッグ、または緑色の堆肥用カートに入れる前に、金属・ガラス・プラスチック製の容器から取り出す必要がありますか？

A: はい。キッチン用保存容器、再利用可能なシリコンバッグ、または緑色の堆肥用カートには、生ゴミと食品廃棄物のみを入れてください。

Q: 生ゴミや食品廃棄物を袋や生分解性プラスチックのライナーに入れてから、緑色の堆肥用カートに入れることはできますか？

A: いいえ。ビニール袋や生分解性プラスチック製ライナー（BPI 認証の生分解性・堆肥化可能袋を含む）は、緑色の堆肥用カートに入れてはいけません。生ゴミや廃棄食品は、袋に入れずに直接緑色の堆肥用カートに入れてください。

Q: 臭いや害虫を最小限に抑えるにはどうすればよいですか？

A: 臭いや害虫は、以下の方法で最小限に抑えることができます：

キッチン用保存容器

- 生ゴミや食べ残しに重曹を振りかけることで、臭いを抑えることができます。
- キッチン用保存容器はしっかりと密閉してください。
- 生ゴミや廃棄食品は冷凍してください。冷凍庫に容器を収納するスペースを確保し、収集日の前夜または当日の朝に容器を空にしてください。*
- 生ゴミや廃棄食品を取り出した後、キッチン用保存容器や保存袋を洗って乾かしてください。

グリーンコンポストカート

- 2 週間に 1 回の回収日に、カートを出してください。
- 臭いを抑えるために、カート内に重曹を振りかけてください。
- 残留液を吸収しやすくすために、カートの底に有機廃棄物を敷き、有機廃棄物と生ゴミを交互に重ねて入れてください。
- カートは日陰に置いてください。
- カートの蓋をしっかり閉め、常に閉じた状態にしておいてください。

*家庭から出る生ゴミは臭いが強く、害虫の発生原因となる可能性があるため、冷凍することをお勧めします。

Q: 市から収集に役立つ道具や備品は提供されますか？

A: はい！参加される住民の皆様には、ENV が主催する対面式説明会、または ENV 事務所での受け取りを通じて、家庭内収集用のキッチンペールまたは再利用可能なシリコンバッグを無料で提供しています。今後の対面式説明会に参加できない場合は、市のリサイクル課（電話番号：(808) 768-3200、メールアドレス：opala@honolulu.gov）に直接ご連絡いただき、キッチン用保存容器の受け取り手配をお願いいたします。 また、お役に立つガイドやパンフレットもご用意しています。詳細については、G.R.O.W.のウェブサイト（https://www.honolulu.gov/env/grow/）をご覧ください。

Q: すでに自宅の庭で堆肥作りをしている場合はどうすればよいですか？

A: 引き続き自宅での堆肥作りを続けてください！家庭での堆肥作りは、庭から出る有機ゴミや野菜や果物の切りくずなどの生ゴミを、庭で使える栄養豊富な堆肥に変えてくれます。この新しいシステムにより、肉、骨、乳製品、穀物など、従来家庭での堆肥には含められないものが、緑色の堆肥用カートに入れられるようになりました。

Q: 生ゴミや食品廃棄物を生ごみ処理機に入れても大丈夫ですか？

A: 生ゴミや食品廃棄物を生ごみ処理機によって廃棄する事は避けてください。代わりに、生ゴミは堆肥にしてください！生ごみ処理機は大量の食品を処理するようには設計されておらず、ご自宅や市の下水道システムに問題を引き起こす可能性があります。固形物を下水道に流すとシステムに余分な負担がかかり、後に取り除く必要が生じます。特に油脂類（FOG）は、市の下水道システムに有害ですので、グレーのカートに入れて一般ゴミとして処分してください。FOG を適切に処分するには、細断した紙などの吸収材をビニール袋に入れ、その中に FOG を注ぎ、袋を密封して段ボール箱に入れ、箱を密封してからグレーのカートに入れてください。

一般情報

Q: 堆肥化のために回収された生ゴミや食品廃棄物は、どのように処理されますか？

A: 回収された生ゴミや食品廃棄物は、ワヒアワ（65-1101　Wilikina Drive）にある「ハワイアン・アース・リサイクリング（Hawaiian Earth Recycling）」の堆肥化施設に送られます。この施設は、特殊なプロセスを用いて有機物を分解する商業用堆肥化施設です。 乳製品、肉類、卵の殻、残り物や腐った食品、食卓の残飯などの食品廃棄物は、この施設において、特定の時間・温度条件による処理と病原菌検査を受けます。

「Hawaiian Earth Recycling」の堆肥は、造園業者、住民、その他の農業従事者に販売されています。詳細は同社のウェブサイトをご覧ください：https://hawaiianearth.com/

Q: 住民も堆肥を購入できますか？

A: ハワイアン・アース・リサイクリングから堆肥を購入することができます。詳細については、こちらのウェブサイトをご覧ください。

Q: アパートやマンションに住んでいる場合も、この新しいサービスの対象になりますか？

A: 現在、アパートやマンションはこの新しいサービスの対象外です。

Q: アパートやマンションに住んでいる場合、ハワイアン・アース・リサイクリングに自分で廃棄物を持ち込むことはできますか？

A: はい。島内のアパートやマンションにお住まいの方は、有機廃棄物、生ゴミ、食品廃棄物を無料で、ワヒアワにあるハワイアン・アース・リサイクリングに直接持ち込むことができます。

Q：この新しいサービスには費用はかかりますか？

A: いいえ。生ゴミや食品廃棄物を緑色の堆肥用カートに入れる際に、追加費用はかかりません。

Q: この新しいサービスによって税金が増えますか？

A: いいえ。このサービスは、市の既存の予算、運営体制、および職員によって賄われます。

Q: 詳細についてはどこで確認できますか？

A: 市は、ENV のウェブサイト、パンフレット、ソーシャルメディアの投稿、および一般向け対面式のワークショップを通じて情報を提供します。

ウェブサイト：honolulu.gov/env/grow
電話：(808) 768-3200
メール： opala@honolulu.gov